

# 事業報告書

(自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日)

## 1.医療法人の概要

### (1)名称

医療法人明和病院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人

☐ 出資額限度法人 ☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2)事業所の所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4-31

(3)設立認可年月日 昭和17年9月1日

(4)設立登記年月日 昭和29年10月1日

### (5)役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	山中 若樹	
理 事	柳 秀憲	院長
同	岸 清彦	副院長内科部長
同	山口 基	整形外科部長
同	上紺屋 憲彦	放射線治療科部長
同	堀 信治	エレガーノ西宮めいわクリニック院長
同	早川 勇二	坂上田病院院長
同	池崎 智詞	事務部長

## 2.事業の概要

(1)本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む)の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許 可 病 床 数
病 院	医療法人 明和病院	兵庫県西宮市上鳴尾町4-31	一般病床 272床 地域包括ケア病床 43床 計 315床

(2)附帯業務(医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護センター明和	兵庫県西宮市上鳴尾町5-13	
居宅介護支援事業所	〃	
西宮市鳴尾在宅療養相談支援センター	〃	
エレガーノ西宮めいわクリニック	〃 津門大塚町11-58	
坂上田病院	〃 津門仁辺町6-25	療養病床 53床

(3)収益業務(社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務)

種 類	実 施 場 所	備 考

(4)当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年6月15日	第68期事業報告書報告の件
同	第68期貸借対照表および損益計算書案の件
同	役員報酬に関するの件
同	社員入社退社承認の件
同	新規病院開設の件

(5)当該会計年度内に開設(許可を含む)した主要な施設

坂上田病院      療養病床    53床

(6)当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当無し

(7)その他

様式第三号

法人名 医療法人明和病院  
所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

※医療法人整理番号 28020

財 産 目 録  
(令和 5年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	14,659,505 千円
2. 負 債 額	3,547,127 千円
3. 純 資 産 額	11,112,378 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	8,540,507
B 固 定 資 産	6,118,997
C 資 産 合 計 (A+B)	14,659,505
D 負 債 合 計	3,547,127
E 純 資 産 (C-D)	11,112,378

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 ☒ 法人所有 ☐ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
建 物 ☒ 法人所有 ☐ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式第一号

法人名 医療法人明和病院  
所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

※医療法人整理番号	2	8	0	2	0
-----------	---	---	---	---	---

[illegible]

(令和 5年 3月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	8,540,507	I 流 動 負 債	1,797,725
現金及び預金	521,808	買掛金	618,351
預け金	5,388,231	1年内返済予定の長期借入金	12,000
事業未収金	2,441,353	1年内返済予定の割賦未払金	1,174
未収金	58,145	未払金	4,657
たな卸資産	92,475	未払費用	393,357
前払費用	4,323	未払法人税等	236,173
その他の流動資産	41,771	未払消費税等	13,206
貸倒引当金	△ 7,600	預り金	68,566
		賞与引当金	450,239
II 固 定 資 産	6,118,997		
1 有 形 固 定 資 産	5,070,772	II 固 定 負 債	1,749,402
建物	1,627,811	長期借入金	102,000
構築物	20,215	割賦未払金	587
医療用器械備品	404,585	退職給付引当金	1,433,806
その他の器械備品	59,461	役員退職慰労引当金	213,007
車両運搬具	638		
土地	2,127,782	負債合計	3,547,127
建設仮勘定	830,278		
2 無 形 固 定 資 産	375,789		
ソフトウェア	374,308	純資産の部	
その他の無形固定資産	1,481	科 目	金 額
3 その他の資産	672,435	I 出 資 金	866,000
長期貸付金	739		
長期前払費用	14,178	II 積 立 金	10,246,378
長期前払消費税等	42,580	繰越利益積立金	10,246,378
繰延税金資産	573,625		
その他の固定資産	41,311	III 評価・換算差額等	-
資産合計	14,659,505	純資産合計	11,112,378
		負債・純資産合計	14,659,505

様式第二号

法人名 医療法人明和病院  
所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

※医療法人整理番号 28020

損 益 計 算 書  
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		13,971,467
2 事業費用		
(1)事業費	12,697,252	
(2)本部費	-	12,697,252
本来業務事業利益		1,274,215
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		249,765
2 事業費用		256,761
附帯業務事業損失		△ 6,996
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		-
2 事業費用		-
収益業務事業利益		-
事業利益		1,267,219
II 事業外収益		
受取利息	6,716	
その他の事業外収益	80,748	87,465
III 事業外費用		
支払利息	42	
その他の事業外費用	21,407	21,449
経常利益		1,333,235
IV 特別利益		
固定資産売却益	-	
負ののれん発生益	98,477	
その他の特別利益	-	98,477
V 特別損失		
固定資産売却損	-	
その他の特別損失	-	-
税引前当期純利益		1,431,713
法人税・住民税及び事業税	419,000	
法人税等調整額	2,017	421,017
当期純利益		1,010,695

※医療法人整理番号	2	8	0	2	0
-----------	---	---	---	---	---

※医療法人整理番号	2	8	0	2	0
-----------	---	---	---	---	---

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (百万円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (円)	科目	期末残高 (百万円)
役員が代表者である 法人	新明和工業 株式会社	兵庫県宝塚市	156, 441	航空機事業、 特装車事業等	役員 の 兼任	資金の 預入	5, 524	預け金	5, 388
						受取利息	6		

トレジャリーマネージャメントサービスによる、余剰資金の短期運用に関するものです。

取引条件（利率を含む）は、関係事業者のグループ企業と同一の条件によっております。

資金の預入の取引金額は、期中平均残高であります。

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (円)	科目	期末残高 (円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

# 監事監査報告書

医療法人明和病院

理事長 山中若樹殿

私は、医療法人明和病院の令和<sup>4</sup>~~3~~会計年度(令和<sup>4</sup>~~3~~年4月1日から令和<sup>5</sup>~~4~~年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

## 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和5年5月24日

医療法人明和病院

監事 久米 俊樹

## 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### ① たな卸資産

最終仕入原価法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物 8年～47年

構築物 10年～20年

医療用器械備品 4年～10年

その他の器械備品 3年～10年

車両運搬具 4年～6年

#### ② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### ② 賞与引当金

役職員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当会計年度末までに発生していると認められる額を計上しております。

#### ③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき、当会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

#### ④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### (4) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等はその他の資産の「長期前払消費税等」に計上し、5年間で均等償却しております。



(5) その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① 補助金等の会計処理

受け取った補助金等については、受け取った会計年度に一括して収益として計上しております。

② ファイナンス・リース取引の会計処理方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については貸借処理によっております。

(6) 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

① 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (百万円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員が 代表者で ある法人	新明和 工業株 式会社	兵庫県 宝塚市	156,441	航空機事 業、特装 車事業等	役員の 兼任	資金の 預入	5,524	預け金	5,388
						受取利息	6		

取引条件及び取引条件の決定方針等

トレジャリーマネージメントサービスによる、余剰資金の短期運用に関するものであります。

取引条件（利率を含む）は、関係事業者のグループ企業と同一の条件によっております。

資金の預入の取引金額は、期中平均残高であります。

(7) その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

① 有形固定資産の減価償却累計額

8,701,026 千円

② 貸借処理をしたファイナンス・リース取引

科 目	リース料総額 (千円)	未経過リース料 (千円)
医療用器械備品	29,400	8,400
計	29,400	8,400

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

貸倒引当金	2,151 千円
減価償却超過額	12,426 千円
一括償却資産損金算入超過額	2,386 千円
賞与引当金	123,671 千円
未払費用	19,119 千円
退職給付引当金	405,910 千円
役員退職慰労引当金	60,302 千円
繰延消費税損金算入超過額	10,110 千円
その他	6,915 千円
小計	642,995 千円
評価性引当額	△ 69,369 千円
計	573,625 千円

④ 補助金等の内訳等  
補助金等の内訳

内訳	交付者	金額 (千円)	計上区分
新型コロナウイルス感染症 対策事業補助金	兵庫県	285,170	本来業務
	西宮市	5,363	本来業務
	その他	22,805	本来業務
	兵庫県	1,410	附帯業務
	西宮市	1,078	附帯業務
その他	兵庫県	12,584	本来業務
合計		328,410	

⑤ 事業譲受に関する事項

1) 事業の譲受けの概要

事業の譲受けの相手先の名称：医療法人坂上田病院

譲受けた事業の内容：病院事業

事業の譲受けを行った主な理由：当該地域において、病床利用率95%以上を維持している  
療養病床の需要に応えるため

事業の譲受けを行った日：令和4年8月1日

2) 採用した会計処理

譲受けた事業に係る資産及び負債について、譲受日における公正な評価額を付す  
方法を適用しております。

3) 計算書類に含まれている譲受けた事業の業績の期間

令和4年8月1日から令和5年3月31日

4) 譲受けた事業の資産及び負債の額並びにその主な内訳

流動資産	132,525	千円
固定資産	11,450	千円
資産合計	143,976	千円

流動負債	44,128	千円
固定負債	1,370	千円
負債合計	45,499	千円

様式第四号

法人名 医療法人明和病院  
所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

※医療法人整理番号 26020

純 資 産 変 動 計 算 書  
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位:千円)

	出資金	積立金				評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
		代替基金	別 途 積 立 金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	評価・換算 差額等合計	
令和4年 3 月31日 残高	866,000	-	-	9,235,682	9,235,682	-	-	-	10,101,682
会計年度中の変動額									
当期純利益	-	-	-	1,010,695	1,010,695	-	-	-	1,010,695
会計年度中の変動額合計	-	-	-	1,010,695	1,010,695	-	-	-	1,010,695
令和5年 3 月31日 残高	866,000	-	-	10,246,378	10,246,378	-	-	-	11,112,378

## 様式第五号

法人名 医療法人明和病院

※医療法人整理番号 28020

所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

## 有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	6,062,798	25,642	231	6,088,210	4,460,398	148,979	1,627,811
	構築物	160,459	163	—	160,623	140,408	3,828	20,215
	医療用器械備品	3,720,398	212,269	136,194	3,796,473	3,391,887	176,059	404,585
	その他の器械備品	755,975	6,742	—	762,718	703,257	44,237	59,461
	車両運搬具	5,277	435	—	5,712	5,074	785	638
	土地	2,127,782	—	—	2,127,782	—	—	2,127,782
	建設仮勘定	—	830,278	—	830,278	—	—	830,278
	計	12,832,691	1,075,532	136,425	13,771,799	8,701,026	373,891	5,070,772
無形 固定 資産	ソフトウェア	578,154	153,019	—	731,173	356,865	122,084	374,308
	その他の無形固定資産	1,467	14	—	1,481	—	—	1,481
	計	579,621	153,033	—	732,654	356,865	122,084	375,789
その 他の 資産	投資有価証券	100,000	—	100,000	—	—	—	—
	長期貸付金	739	—	—	739	—	—	739
	長期前払費用	18,236	572	4,630	14,178	—	—	14,178
	長期前払消費税等	17,537	32,155	7,112	42,580	—	—	42,580
	繰延税金資産	575,642	—	2,017	573,625	—	—	573,625
	その他の固定資産	566	40,908	163	41,311	—	—	41,311
	計	712,722	73,635	113,922	672,435	—	—	672,435

(注) 「当期増加額」のうち主なものは、次のとおりであります。

医療器械器具備品 手術機器 22,956千円

## 様式第六号

法人名 医療法人明和病院

※医療法人整理番号 28020

所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

## 引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	5,348	2,434	182	—	7,600
賞与引当金	457,123	450,239	457,123	—	450,239
退職給付引当金	1,400,857	122,984	90,034	—	1,433,806
役員退職慰労引当金	195,957	17,050	—	—	213,007

## 様式第七号

法人名 医療法人明和病院

※医療法人整理番号 28020

所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

## 借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	—	—	—	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	—	12,000	1.2	—
1年以内に返済予定の 割賦未払金	—	1,174	2.26	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	—	102,000	1.2	2024.4～ 2032.9
割賦未払金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	—	587	2.26	2024.4～ 2024.9
その他の有利子負債	—	—	—	—
合 計	—	115,761	—	—

(注) 1. 「平均利率」については、当期末残高に対する加重平均利率を記載しております。

2. 貸借対照表日後5年内における1年ごとの返済予定額の総額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金	12,000	12,000	12,000	12,000
割賦未払金	587	—	—	—

## 様式第九の一号

法人名 医療法人明和病院

※医療法人整理番号 28020

所在地 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号

## 事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事業費	本部費	計			
材料費	4,560,224	-	4,560,224	1,141	-	4,561,366
給与費	5,315,568	-	5,315,568	182,324	-	5,497,892
委託費	835,863	-	835,863	5,407	-	841,270
経費	1,094,514	-	1,094,514	62,485	-	1,157,000
その他の事業費用						
設備関係費	871,139	-	871,139	5,202	-	876,342
研修研究費	19,940	-	19,940	200	-	20,140
計	12,697,252	-	12,697,252	256,761	-	12,954,013

## 独立監査人の監査報告書

2023年5月26日

医療法人明和病院

理事会 御中

あすの監査法人

愛知県名古屋市

指定社員

業務執行社員

指定社員

業務執行社員

公認会計士

公認会計士

山岡輝之

稲垣卓也

## 監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人明和病院の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、この監査報告書の日付以前に当監査法人が入手した関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表及びこの監査報告書の日付より後に当監査法人に提供されることが予定される事業報告書から構成される。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。また、表明する予定もない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相



違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、この監査報告書の日付以前に入手したその他の記載内容に対して実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、

又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上